



森の風の記憶

Presented by 諸塚村観光協会「まちむら応縁倶楽部」

諸塚の四季 Vol.47 人の心の力～心のふるさと・諸塚



47・48合併号

平成21年11月15日発行

目次:

活動報告特集

やま学校日記 2

やま学校日記 4

イベント案内 6

※この通信誌は、ご希望の方はメールでもお届けできます。下記にご連絡ください。

小学生向けの体験ツアー「森のエコスクール」で毎回感心するのが、子供たちの心の成長です。例年、最初の開校式は、あいさつはできない、人の話が聞けない、列に並べない、勝手に行動する子どもが多く、先生たちが孤軍奮闘しています。しかし、不思議なことに諸塚でいろいろな方と出会い、山村で一緒に過ごす、帰る頃にはちゃんとあいさつができるようになり、人の話が聞けるようになっていきます。

今年も、案の定、開校式では大変な状況でした。その後の体験に同行しながら、話をしてみると、ひとりひとりとはとても素敵な子供たちで、指導すればちゃんと出来ます。でも、集団になると、自分の役割がわからず、まわりが見えなくなり、みんなの雰囲気を悪くしているようです。

「森のエコスクール」では、山村で長期宿泊をしながら、牛の世話や郷土料理づくり、しいたけ栽培の手伝い等をしますが、今年は3泊4日となり農家民宿体験もありました。4日間の間にいろいろな方と出会い、家族と違う人たちに世話をしていただきながら、仲間と一緒に農家の手伝いなどをすることで、自分たちひとりひとりの力を理解し、お互い助けあうことで生活ができることを心と体で体験していきます。

最終日には、立派な体験発表が出来て、お互いの話を静かに聞ける立派な子供たちになっていました。人には人を成長させることができる力を持っているんだなとつくづく思います。体験を終えて帰って行く子供たちには、諸塚での体験は特別ではなく、日頃から学校や自宅でできることばかりなのだ気づいてほしいものです。お父さんやお母さん、先生や友達など、まわりの人達に感謝と思いやりの気持ちを持つことで自分が成長できることを・・・。

お互いの思いやりと助け合い。都会の生活がいつの間にか忘れていることを思い出させてくれるところ。失ってはいけない大事なものが残る「心のふるさと・諸塚」でありたい。(矢)



全村森林公園 諸塚
百彩の森づくり

諸塚村

10・11月の出来事

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3068

しいたけの館21内 諸塚村観光協会

TEL 0982-65-0178

Fax 0982-65-0189

10月18日 みやざき音届けコンサートIN諸塚

10月27～30日 森のエコスクール 恒富小学校

10月31日～11月1日 第93回エコツアー

11月1日 黒岳もみじ祭り 11月15日 諸塚村民文化祭

11月14～15日 第59回木材産地ツアー

HP <http://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp>

e-mail ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp

やま学校日記 1

延岡市恒富小学校「森のエコスクール」受講生 42名
平成21年10月27日(火)～10月30日(金)

森のエコスクール時間割

1日目 諸塚村に到着！
オリエンテーション
しいたけの館見学と古代米の脱穀

古民家「やましぎの杜」へ
竹はしづくり／料理作り

2日目

畜産センターで牛のお世話
セツ山小・荒谷小で交流給食
それぞれの農家民泊先へ
詳しい様子は隣のページへ

3日目

民泊先で朝ご飯
～お昼の弁当も自分で作りました
農家民泊での体験をまとめ
しいたけ団地／しいたけ選別場 見学
合宿所「六峰館」へ
とれたてしいたけを使って夕食
みんなで過ごす最後の夜

4日目

四日間の体験発表会
閉校式



左上：諸塚で食べるご飯は自分でつくったハシを使います
左下：畜産センターの大きな牛たち。はじめはみんなおっかなびっくり。
右下：村内の小学校で、ちょっとドキドキの交流会。



農家民泊での体験をまとめ
しいたけ団地／しいたけ選別場 見学
合宿所「六峰館」へ
とれたてしいたけを使って夕食
みんなで過ごす最後の夜



左上：そっちの中身はなあに？民泊先でつくった竹の皮で包んだおにぎり弁当
右上：上手にできる？しいたけ選別場で包装シール貼り
左中：ごはんをつくるのも、盛りつけもみんなで分担
左下：4日間、元気いっぱいの子どもたちでした。
右下：諸塚での体験を発表しました。



～やまの風・まちの風～ 秋のイベントシーズン、おかげさまで大忙しの「まちむら応縁倶楽部」でした。そんなわけで、今号は活動特集号となりました。ツアー受け入れの様子から諸塚の風をたっぷりとお楽しみ下さい。

今年で8年目となる「森のエコスクール」が新たな扉を開きました。それが、「農家民泊」です。村内のごく普通の家庭に泊めていただき、その家の生活をまるごと体験します。

エコスクール2日目、子どもたちは9つのグループに分かれそれぞれの宿泊先に向かいました。ここからは一晩の間、先生ともクラスのみんなともお別れ。4～5人のグループで民泊先のお宅の“子ども”になります。

民泊先に着くと、それぞれの家にある“仕事”を体験しました。内容は家によって様々です。ある農家では、しいたけ採りをしたり、乾しシイタケをつくるための作業を手伝ったり。またあるお宅では、畑に行ってニンジンを抜いたり、落花生を掘ったり。家の周りを散策して、様々な植物を見つけたグループもありました。ここでは、じいちゃんばあちゃんが先生です。家で飼っているヤマメを捕まえて串焼きを作ったグループ。お互いに張り切りすぎて、すこしヤマメを捕りすぎてしまったようです。担当もありがたくお裾分けをいただきました。ニワトリの産みだての卵を拾ってきて「たまごかけごはん」を食べたグループも。「めっちゃ、うまい」と興奮していたとか。どの家庭でも諸塚でとれた食材が食卓に並びます。地どれ旬どれの新鮮な素材を使う普段通りの食事が、一番のごちそうなのです。畜産農家のお宅では、子牛にミルクをやりました。なんと、運良く牛のお産に立ち会えたグループも！！子どもたちはご飯を食べるのもそこそこにして牛舎へ行き、牛を見入っていたそうです。(田)



まちの声 最終日の発表会で聞こえてきた子どもたちの感想です

- ★民泊するのが初めてで、ドキドキしたけど野菜の収穫や料理をつくって楽しかった。
- ★子牛のミルクあげは、めったに出来ない体験なのでできてよかった。
- ★初めて鐘を鳴らしたので、何回もならしてしまった。楽しかった。
- ★ヤモリを発見してびっくりした。ヤモリを見ているとなんだか気持ちが安らいた。
- ★最初は心配だったけど、やさしいおじちゃんおばちゃんです。安心した。
- ★諸塚は花や木がたくさんあり自然が豊かです。農家の人も優しくうれしかった。

むらの声 はじめての受け入れを終えた民泊農家の感想です。

- ★6人の女の子が泊まりに来てくれてうれしかったです。いつも2人の老人にとっては、素晴らしい感動と元気をもらいました。(水車)
- ★民泊までの間が大変だった。ふとんなどを干したりと天気とにらめっこの日々だった。終わってしまえば、何か気が抜けたようだった。今後は力を入れすぎないで、気楽にやってみようと思った。(山の川内)

～やまの風・まちの風～ いよいよ諸塚村でも農家民泊がスタートしました。個性溢れる、あったかいお母さんお父さんがいっぱいいます。それぞれの農家民泊は、今後本誌面でもご紹介していきたいと思います。ご期待下さい。

やま学校日記2

第93回エコツアー「諸塚でやま学校しよう」受講生 18名
平成21年10月31日(土)～11月1日(日)

1日目 10月31日(土)

国道503号に入ると、赤や黄色の何とも言えない山の模様が目に飛び込んできました。セツ山公民館に着き、やま学校特別講座『山寺でお説教を聞く』ということで平等山浄覚寺へ向かいました。13名のやま学校生が小川希迪副住職より法話をいただきました。お話の題名は「いのち 豊かな心」でお寺の歴史やこれまで受け継がれてきた命の尊さ等についてお話をいただきました。心温まるお話と、熱いお茶、お菓子、それから柿をいただき、平成13年に建てられた梵鐘をつかせていただきました。つく人により音が違って聞こえました。



思わず聞き入る山寺の住職のお話し

法話を終え、次は食体験『秋の味覚 山の幸いっぱい』栗を使った【栗おはぎ】作りに挑戦しました。ここからは5名追加の18名で体験しました。【栗おはぎ】を作ることは内緒にしていたので、やま学校生に「何を作るでしょう?」と尋ねてみると、「栗きんとん!」「ねったくり!」「くり団子!」となかなか正解ができません。担当者の楽しめるどころです(参加者のみなさん、ごめんなさい!)。子どもも大人も思い思いに栗おはぎ作りに挑戦しました。栗だけを使った贅沢な栗おはぎのできあがりです。作ってすぐにみんなで1つずついただきました。あまーい栗おはぎ、柚子の香りがしてとても美味しかったです。はじめて食する方もいて、今回のスイーツは大成功でした。

交流会も地元の方7名を迎え、盛り上がりました。宿泊は、「藤屋」には男性陣。女性と家族で参加の方は3軒の農家民泊を体験してもらいました。今年の秋にオープンした、セツ山地区の農家民宿です。今までより少し踏み込んだ心温まる交流を体験されたのではないのでしょうか。藤屋では、セツ山地区の青年M君を交えて二次会が開幕。男性陣がいろりを囲みながら、諸塚村や集落の将来、さらには各人の人生観について熱く熱く語りました。箱いっぱいに入った薪が燃え尽きるまで話し込み、日付が変わる頃にお開きとなりましたが、大変有意義な座談会となりました。

名人直伝! ~栗おはぎの作り方~

1 茹でた栗を半分に切り栗の実をスプーン等を使ってかき出す。
(好みでミキサーにかけても◎)

2 厚鍋に栗と砂糖を入れ約20分練る。栗1kgに対し、砂糖300～500g。栗の甘さもあるので適意加減を。



3 もち米を炊く。炊きあがったら、砂糖をひとつかみ入れ混ぜる

4 栗あんにご飯をピンポン球くらいの大きさにそれぞれ丸める。

5 サランラップに栗あんののせて薄くのばし、丸めたご飯を包む。

はい、できあがり!!

～やまの風・まちの風～ 今年は、木の実が豊作です。クリや柿をはじめ、イヌ(ゆず)・へべズ・どんぐりまで、山にはたくさんの実が溢れていました。どちらが採るのが早いのか、山の動物や鳥たちと競争です。

2日目 11月1日(日)

朝は雨の音で始まりました。集合は、セツ山公民館に7時。さすがやま学校生です。みなさん時間どおりに集合し、朝食の準備を手伝い、朝食を済ませ、そらまで終わらせ、出発の準備万端です。加工グループの商品もお買い求めいただき、セツ山地区の皆さんが見送る中、セツ山公民館を後にしました。2日目は森林体験「黒岳の登山と紅葉狩り」に挑戦です。昨年までは10月末の日曜日に行っていたもみじ祭でしたが、今年から紅葉が少しでも多く楽しめるようにと11月の第1日曜日に開催することになりました。1週間違うと紅葉も大分進むようです。

9時前に広場に到着し、登山の準備をしました。少し時間があり、地元の方が出店しているお店を見学しました。うどん、ソバ、豚汁、串焼き、エノハの塩焼きなどなどたくさんの地元産が並んでいました。開会行事を控えて大粒の雨が落ちてきました。晴れ女を返上しなければ…。周囲は濃霧でせっかくの紅葉も見えません。恒例のウッドカットもテントの下。登山の案内は地元の甲斐幸雄さんです。地図を作っただき分かりやすい説明をいただきいざ登山！でしたが、雨と霧の中を登頂されたのは4人でした。ご苦労様でした。数人で黒岳神社まで登りましたが、いつもの見晴らしの良い場所はどこへやら…。でした。「晴れていたらなあ…」の言葉が何度出たことでしょうか。参加者の皆さんからは「また来なさい！ということですね。」と前向き発言が、嬉しい言葉でした。雨に濡れ、山小屋の中の焚き火を囲み暖まりました。昼食にいただいた、地元婦人会の作った山菜おこわと熱々の豚汁は、冷えた体を中から温めてくれました。なかなかやまない雨。テントの中、山小屋の中では、地元の方との交流が弾みました。(聖)



うまいくかな？くりおはぎ みんなで柿ちぎりにも挑戦！

まちの声

参加したやま学校生の感想です。

紅葉のトンネルをバックに集合写真

- ★農家民泊はサプライズでしたが、とても楽しかったです。親戚の家に泊まらせてもらっているようにくつろげました。
- ★ご先祖様がいて私がいる、そして子ども達が…。忘れていました。
- ★栗を抜くのに夢中になってマメができてしまいました。とても美味しい栗おはぎをいただきました。
- ★あいにくの天気で登山は少しだけしかできませんでしたが、その分、地元の方とたくさん交流ができたので良かったです。

～やまの風・まちの風～ 冬の気配が漂いだした諸塚では空気が澄んで、星がきれいにみられます。地上800mの池の窪グリーンパークから星空を眺めるのがオススメです。12月14日は双子座流星群の極大日だそうです。

イベント情報

諸塚の祭り(47) イベント

寒い冬、心温まる音楽を…

クリスマスチャリティコンサート

今年で通算11回目を迎え、村内ではおなじみになってきたチャリティーコンサート。出演は、村内有志の音楽グループです。さあ、今年はどんな演奏が繰り広げられるのでしょうか。



日時 平成21年12月26日(土)

午後6時開場

場所 しいたけの館21 地下ホール

入場は無料ですが、赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

詳しいことは、諸塚村観光協会事務局までお問い合わせ下さい。

編集後記

■去る11月2日、家代青年団の地芝居が無事に終わりました。毎晩のようにあった練習が無くなると、それはそれで夜が寂しいものです。この後、青年団は恒例の打ち上げ旅行に出かけます。今年は何処へいくのやら。(田)

■フラワーアレンジメント体験でかわいい花がカゴに盛られ、メッセージが。「いつもお仕事お疲れさまです。クリスマスプレゼントはiPodをお願いします。」中2の息子からでした…(笑)(聖)

■産直住宅の施主のHさんは「諸塚村木材だとわかるように」と、大黒柱や梁に諸塚村の焼印を押されました。顔が見える家づくりは、ものをつくる者が誇りと責任を持つことの大切さを教えてくれます。(矢)

【今後の予定】

11月28日～11月29日

第94回エコツアー 地そばの脱穀と
10割りそば 木工に挑戦!

12月5～6日

ワーク・アフター・キャンプ

～しいたけ採り編～

12月26日クリスマスコンサート

12月29日～1月3日 年末年始休業

2010年 1月30～31日

第95回エコツアー 夜神楽観賞

神楽団子づくり・しいたけ狩り

宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代3068

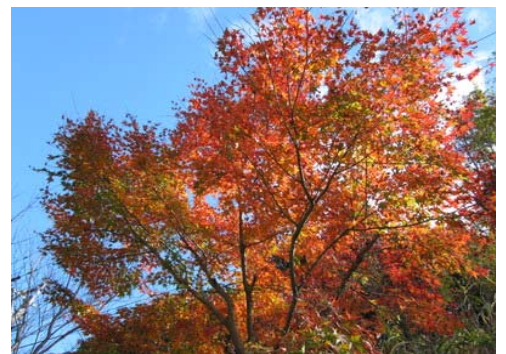
しいたけの館21内 諸塚村観光協会

TEL 0982-65-0178

Fax 0982-65-0189

e-mail ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp

道ばたのイロハモミジ



今年の紅葉は、「山が燃えているよう」と言われるくらい、紅色がさえていました。冬の乾燥に備えて、葉を落とす木々たちです。

全村森林公園 諸塚
百彩の森づくり

諸塚村

Presented by 諸塚村観光協会
「まちむら応援倶楽部」